

平成 28 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 28 年 10 月 3 日（月） 16:05～16:20
議 題	・政策推進プラン，行政運営プラン，財政運営プラン素案について ・平成 29 年度に向けた市政取組方針について
出席者	高島市長，貞刈副市長，中園副市長，荒瀬副市長，総務企画局長， 財政局長，総務企画局行政部長，総務企画局企画調整部長， 総務企画局人事部長，財政局財政部長
決定事項	○政策推進プラン，行政運営プラン及び財政運営プランの素案について，別紙のとおりとする。 ○平成 29 年度に向けた市政取組方針について，別紙のとおりとする。
議事要旨	<p>【荒瀬副市長】 超高齢社会の到来に向け，今後 4 年間は，「配る福祉から支える福祉」への転換や健康先進都市実現に向けた取組みなど，持続可能な仕組みづくりに各局が一丸となって取り組み，住み慣れた地域で，誰もが安心して，いきいきと暮らし続けられる社会の実現をめざしてほしい。</p> <p>【中園副市長】 これまでの 4 年間で，天神やウォーターフロント地区，九州大学箱崎キャンパス跡地など，大きなまちづくりが一斉に動き始めており，今後は，これらの拠点の機能や魅力の向上，アクセスや回遊性の強化，拠点間のネットワークづくりに取り組み，コンパクトで国際競争力のある都市づくりをしっかりと進めてもらいたい。</p> <p>【貞刈副市長】 今後，財政収支の見通しは決して楽観できるものではなく，今回のプランに基づき，施策・事業の選択と集中や市債発行の抑制に取り組むとともに，規制改革による新たな雇用の創出や民間投資の</p>

喚起を図るなど、将来にわたり持続可能な市政運営をめざして取り組んでもらいたい。

【高島市長】

「福岡市総合計画」に基づき、政策推進プラン、行財政改革プランのもとで取り組んできたこれまでの4年間に間違いはないと確信している。今回のプランにおいても、基本的な路線を維持しながら、「生活の質の向上と都市の成長の好循環」をより確かなものとし、KPIやエビデンスに基づいた施策の選択と集中を行いながら、市民と一体となり福岡市を成長させ、市民が豊かな生活を実感できるよう、しっかりと取り組んでもらいたい。